



リサイクラキット

Groundsmaster® e3200 2 輪駆動トラクションユニット60" 後方排出ロータリーデッキ搭載機

モデル番号 32306

取り付け要領

1

マシンの準備を行う

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。
注 ブレーキが掛かっていることを確認する。駐車ブレーキ作動中と表示されていることを確認するオペレーターズマニュアルを参照。
- 3.刈り込みデッキを移動走行位置まで上げるオペレーターズマニュアルを参照。
4. エンジンを止め、キーを抜き取る。
5. バッテリー遮断スイッチを OFF 位置にする;トラクションユニットのオペレーターズマニュアルを参照。
6. 刈り込みデッキを整備位置にセットするオペレーターズマニュアルを参照。



2

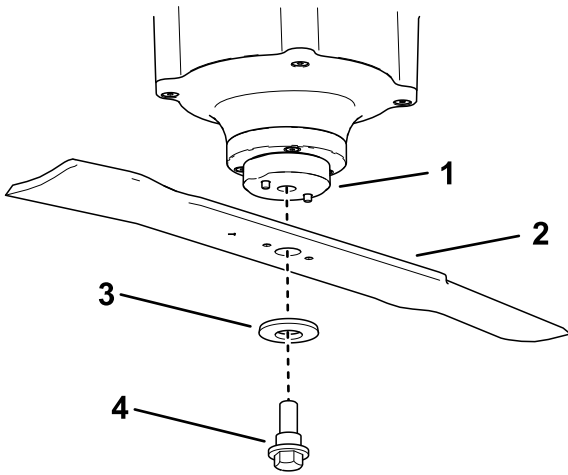
ブレードの取り外し

必要なパーツはありません。

手順

1. ブレードリテーナの平たい部分にレンチを当てるか、丈夫な手袋やウェスなどでブレードを握る。
2. スピンドルのシャフトからブレードボルト、ワッシャ、ブレードを取り外す。

重要 外したボルトは再利用するので廃棄しないこと。



g376322

図 1

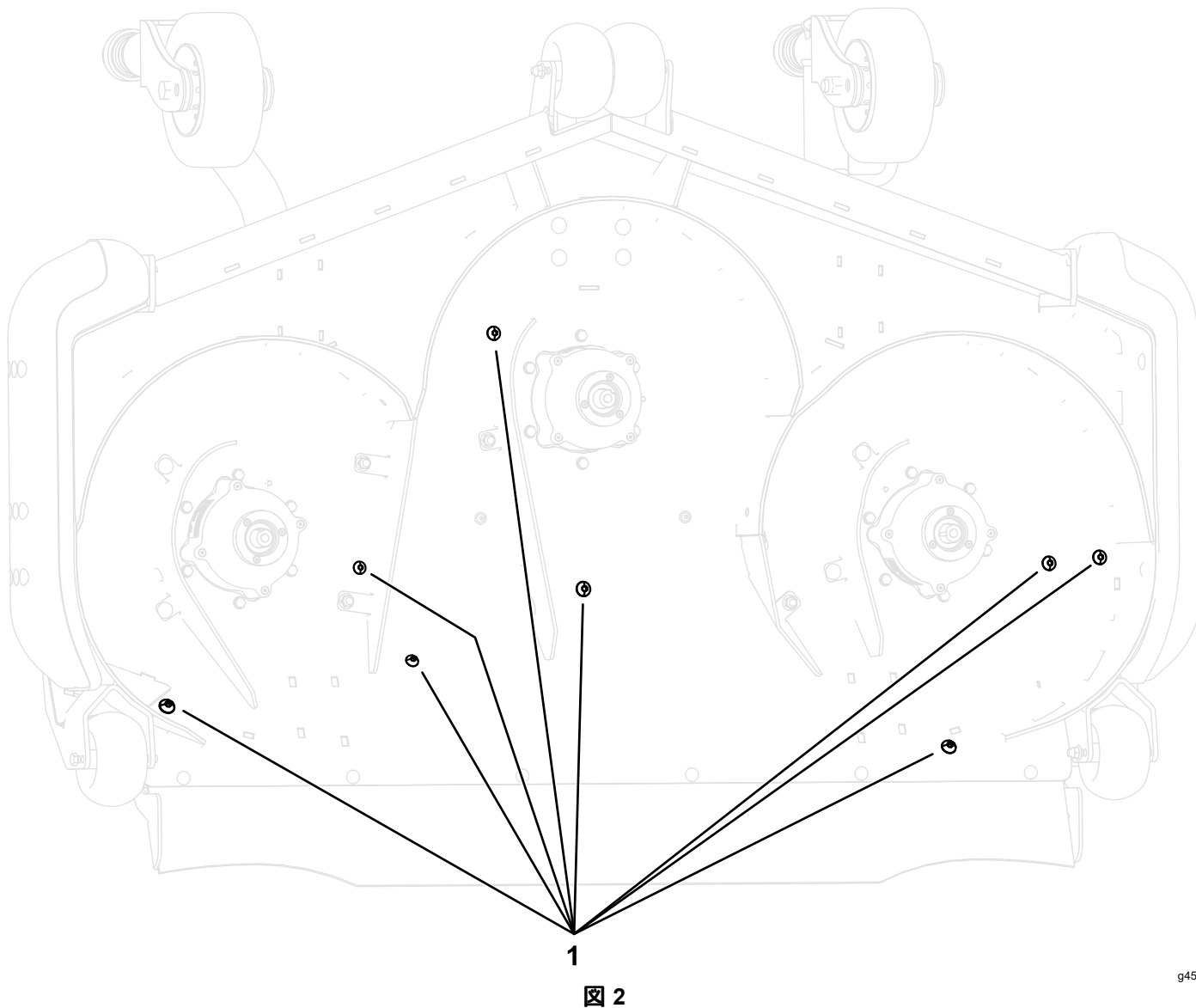
- | | |
|-------------|------------|
| 1. ブレードリテーナ | 3. ワッシャ |
| 2. ブレード | 4. ブレードボルト |

3

プラグを取り外す

必要なパーツはありません。

手順



g454910

1. プラグ

4

デッキについているバッフルを取り外す

必要なパーツはありません。

手順

図3のように、刈り込みデッキから既存のバッフルと締結具を外します。

注 今後、リサイクルキットを取り外す可能性がある場合には、外した部品などを保管してください。

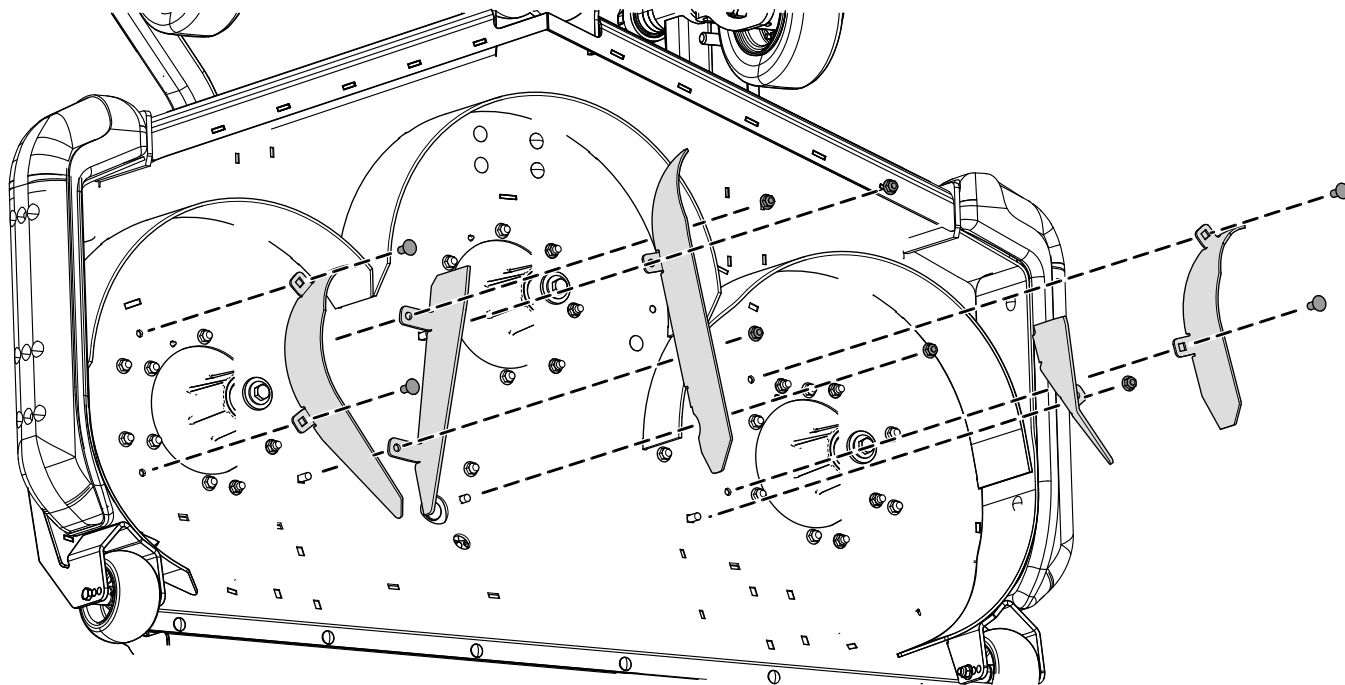


図3

g308832

5

リサイクル用バッフルを取り付ける

この作業に必要なパーツ

1	右後バッフル
1	右中央バッフル
1	左後バッフル
2	サイドキッカーバッフル
1	センターキッカーバッフル
12	ロックナット $\frac{3}{8}$ "
12	キャリッジボルト $\frac{3}{8}$ x $\frac{7}{8}$ "

手順

1. 右後バッフルを刈り込みデッキに仮止めするキャリッジボルト $\frac{3}{8}$ x $\frac{7}{8}$ "3本とロックナット $\frac{3}{8}$ "3個を使用して図4のように取り付ける。

2. 左後バッフルを刈り込みデッキに仮止めするキャリッジボルト $\frac{3}{8}$ x $\frac{7}{8}$ "3本とロックナット $\frac{3}{8}$ "3個を使用して図4のように取り付ける。
3. 図4のように、モアデッキにリヤセンターバッフルを仮止めするキャリッジボルト ($\frac{3}{8}$ x $\frac{7}{8}$ "1本はデッキ貫通、キャリッジボルト ($\frac{3}{8}$ x $\frac{7}{8}$ "1本はフロントレフトバッフルを貫通させ、ロックナット $\frac{3}{8}$ "で固定する。
4. リヤセンターバッフルをリヤライトバッフルに仮止めするキャリッジボルト $\frac{3}{8}$ x $\frac{7}{8}$ "1本とロックナット $\frac{3}{8}$ "1個を使用して図4のように取り付ける。
5. サイドキッカーバッフル2枚とセンターキッカーバッフルを仮止めするキャリッジボルト $\frac{3}{8}$ x $\frac{7}{8}$ "3本とロックナット $\frac{3}{8}$ "3個を使用して図4のように取り付ける。

注 各キッカーバッフルのフック側は、チェンバーバッフルのスロットにはめ込みます。

注 フック側がうまく嵌らない場合は、相手方のバッフルを少しゆるめてください。

6. 手順3 プラグを取り外す (ページ3) で外した金具を使って穴をふさぐ。

注 四角い穴はキャリッジボルトでふさぐ。丸い穴はボタンヘッドボルトでふさぐ

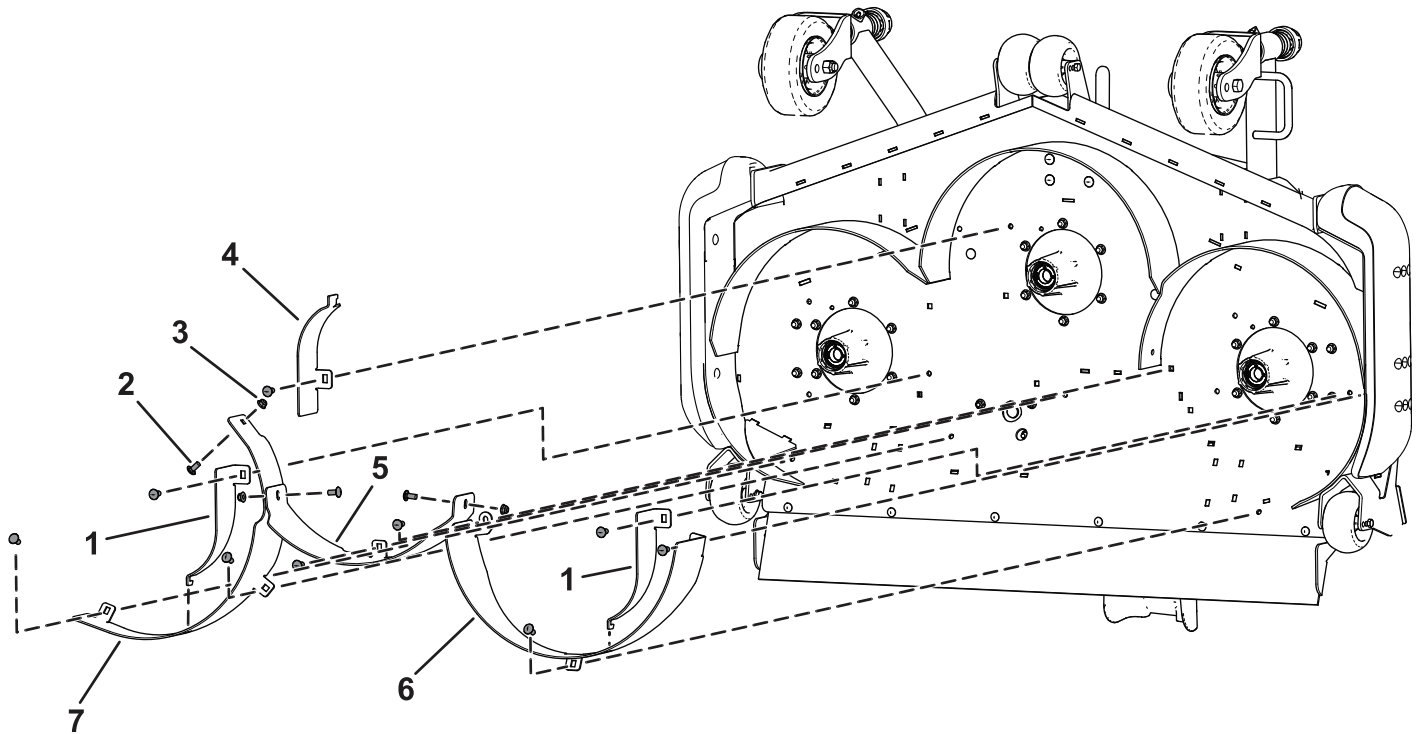


図4

g306693

- | | |
|---|------------|
| 1. サイドキッカーバッフル | 5. 右中央バッフル |
| 2. キャリッジボルト $\frac{3}{8}$ x $\frac{7}{8}$ " | 6. 左後バッフル |
| 3. ロックナット $\frac{3}{8}$ " | 7. 右後バッフル |
| 4. センターキッカーバッフル | |

6

ブレードの取り付け

必要なパーツはありません。

手順

図5のようにブレード、ワッシャ、ブレードボルトを取り付けてボルトを68-81 N・m7.0-8.3 kg.m でトルク締めする。

重要 刈り取りが適切に出来るように、ワッシャの向きが図のようになるように取り付けする。

重要 曲がったセイルの立っている側が上を向くのが正しい取り付け方です。

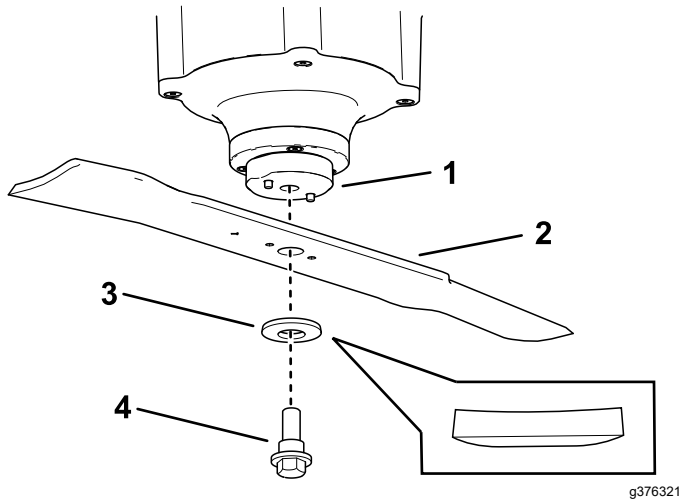


図5

- | | |
|-------------|------------|
| 1. ブレードリテーナ | 3. ワッシャ |
| 2. ブレード | 4. ブレードボルト |

7

ボルト・ナットの本締めを行う

必要なパーツはありません。

手順

警告

整備時に電源を OFF にしてもブレードは動きまゝです。ブレードは非常に鋭利であり、触れると大けがをする危険があります

- 可動部に手足を近づけないよう注意してください。
- ブレードの整備を行う場合には手袋を着用してください。

1. バッフル固定用のすべてのルトとナットを締めつける。
2. ブレードを手で回して、バッフルとブレードとの間に隙間があることを確認する。隙間がない場合は、バッフルをゆるめて隙間を作る。

8

組み立てを完了する

必要なパーツはありません。

手順

刈り込みデッキを刈り込み位置にセットするオペレーターズマニュアルを参照。

9

後方排出へ戻す手順

必要なパーツはありません。

手順

1. 平らな場所に駐車する。
2. 駐車ブレーキを掛ける。

注 ブレーキが掛かっていることを確認する。駐車ブレーキ作動中が表示されていることを確認するマシンのオペレーターズマニュアルを参照。

3. 刈り込みデッキを移動走行位置まで上げるオペレーターズマニュアルを参照。
4. エンジンを止め、キーを抜き取る。
5. バッテリー遮断スイッチを OFF 位置にする;トラクションユニットのオペレーターズマニュアルを参照。
6. 刈り込みデッキを整備位置にセットするオペレーターズマニュアルを参照。
7. リサイクル用バッフルを取り外す。

注 外した金具類は保管する。

8. 後方排出バッフルとファスナー等を取り付ける

注 ふさがれていない穴はすべてふさぐ必要があります。穴があると砂や異物が飛び出して危険です。



Count on it.